

2019年度重点事業

イベント 宮古港海戦 150 周年記念事業 (観光課) 1,200 万円

宮古港で行われた日本初の近代海戦「宮古港海戦」から今年で150年。この歴史資源を活用し、観光誘客による交流人口の拡大と、地域経済の活性化、そして歴史の再認識による市民の郷土愛の醸成を図ります。

◆オープニングイベント

浄土ヶ浜まつりにおいて、宮古港海戦に関する紙芝居朗読や、天然理心流の演武披露・体験レクチャー等を行うオープニングイベントを開催します。

◆スタンプラリー

宮古市と観光協定を締結している日本自動車連盟(JAF)と連携し、スマートフォンを活用したスタンプラリーを実施します。

◆パレード

みやこ秋まつりにおいて、宮古港海戦が行われた時代をテーマとしたパレードを実施します。

◆資料展

宮古港海戦に関する歴史を、貴重な資料とともに紹介します。



臼木山にある宮古港海戦解説碑

産業 海面養殖・陸上養殖にかかる調査 (水産課) 1,760 万円

新しい漁業形態として、宮古湾における海面養殖の可能性を調査します。また、つくり育てる漁業を支援するため、東北区水産研究所宮古庁舎の協力を得て、水揚げ補完魚種の可能性を調査します。

◆トラウト(海面養殖)の実現可能性調査(1,010万円)

◆ホシガレイ(陸上養殖)の実現可能性調査(750万円)



養殖されているホシガレイ

産業 森林環境譲与税*1を活用した取り組み (農林課) 3,422 万円

新たに創設された「森林環境譲与税」を活用し、各種事業を行います。

- ◆地域林政アドバイザー・林業普及指導員の配置 (537 万円)
- ◆森林の現況把握などの調査 (570 万円)
- ◆林地台帳更新 (380 万円)
- ◆林道の維持補修・管理 (1,935 万円)

(注) *1=森林環境譲与税とは、国から地方自治体に譲与(配分)される財源で、森林整備などの費用に充てることとされている。2019年度から5年間は、国が借入金元を地方自治体に譲与するが、2024年度からは、国が住民から年額1,000円を徴収する予定の森林環境税(国税)を元に地方自治体に譲与する。

産業 東京オリンピックなどへの地域木材提供 (農林課) 374 万円

「日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」のプロジェクトに参加して、東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザの建築資材として、地域木材を提供します。

県内では、岩手県と宮古市が参加します。大会後に解体された木材は、宮古市の公共施設などでレガシー（後世への遺産）として活用します。



選手村ビレッジプラザ (2018年10月時点のイメージ図/cTokyo2002)

子育て 国民健康保険税の子ども均等割減免 (総合窓口課) 1,834 万円

子どもの均等割の減免を行い、子育て世帯を経済的に支援します。

子育て 子ども・子育て幸せ基金事業 (こども課) 2,850 万円

子どもを安心して産み、幸せに育てられる環境整備のため、各種事業を行います。

- ◆子育て支援員研修業務委託 (74 万円)
- ◆民間保育士住居費支援事業補助金 (108 万円)
- ◆民間保育士奨学金等返済助成金 (140 万円)
- ◆民間保育士再就職支援事業補助金 (110 万円)
- ◆在宅子育て支援金 (1,620 万円)
- ◆家庭的保育事業所開設準備補助金 (270 万円)
- ◆こども食堂および親の自立支援事業委託 (500 万円) など

子育て 花輪保育所の建て替え (こども課) 3 億 1,055 万円

老朽化した花輪保育所を建て替えます (2020 年 4 月供用開始予定)。

教育 小中学校への冷房設備整備 (教委総務課) 3 億 8,510 万円

熱中症対策として、小中学校の普通教室などにエアコン設備を設置します。

教育 発達支援や子ども読書活動支援などの充実 (こども課^{ほか}) 9,167 万円

発達相談、特別支援、介助、就学支援、学校図書館支援を行う職員を配置します。

- ◆発達相談支援員 = 3 人 (611 万円)
- ◆特別支援教育支援員 = 34 人 (4,038 万円)
- ◆介助員兼事務補助員 = 3 人 (535 万円)
- ◆就学支援相談員 = 1 人 (206 万円)
- ◆学校図書館支援員 = 11 人 (1,306 万円) など

教育 **スポーツ選手育成強化**（生涯学習課） **382万円**

スポーツ競技団体などの事業を支援し、選手の育成強化を推進します。

- ◆スポーツ選手育成強化支援事業（208万円）
- ◆ジュニアスポーツ育成ドリムキャンプ事業（104万円）
- ◆陸上競技選手育成強化支援事業（70万円）

※ 大村邦英さん（日本体育大学陸上競技部総監督、宮古高校卒）による陸上クリニックなど

生活 **川井地域情報通信基盤施設更新**（川井総合事務所） **1億9,640万円**

川井地域の情報通信基盤施設（川井庁舎内サーバー室ほか5中継局の光送受信装置など）の設備更新を行います。

健康 **母子保健事業**（健康課） **7,430万円**

安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに成長するための、各種事業を行います。

- ◆妊娠・出産包括支援事業＝健康診査、健康相談、健康教室、訪問指導、発達相談
- ◆産前産後サポート事業（240万円）
- ◆産後ケア事業（495万円）
- ◆産婦健康診査事業（350万円）
- ◆新生児聴覚検査費用助成事業（465万円）
- ◆養育医療の給付（335万円） など



子どもの健やかな成長はみんなの願い

その他 **（仮称）宮古創生センター整備**（企画課） **1億7,704万円**

子どもや若者の健全育成と、市民活動の場となる施設を整備するため、旧宮古警察署の用地および建物を取得します。

その他 **ラグビーワールドカップ推進**（生涯学習課） **1,995万円**

ラグビーワールドカップ2019TM日本大会の、フィジーとナミビアの公認チームキャンプ地として、受け入れ準備を進めるとともに、大会を盛り上げる取り組みを行います。

- ◆RWC2019 宮古市スクラムミーティング補助金（500万円）
- ◆練習会場整備、備品購入など（1,370万円）



宮古市を公認キャンプ地とするナミビアのナショナルチームの選手（写真中央）